

哀悼 親泊康晴前市長ご逝去



生前の功績に対し
那覇市名誉市民章

4月11日、私たち那覇市民は前那覇市長である親泊康晴さんの訃報に接しました。第24代から第27代までの4期16年間にわたって那覇市長を務め、市政発展に多大な足跡を残されました。あらためてご冥福をお祈り申し上げます。那覇市では、これまでのご功績に対し、「那覇市名誉市民章」をお贈りして永く記録にとどめることに致しました。

那覇市民が長年待ち望んだ沖縄都市モノレール開業を、我がことのように待ち望んだ一人の関係者がいました。開業のその日、式典に招待され目を細めながら晴れの開業式に臨んでいたお姿が印象的でした。そのモノレール沿線にお住まいになり、常に新しい都市像を眺めていた親泊康晴前那覇市長がモノレールを臨むご自宅でお亡くなりになりました。享年78歳でした。

親泊前市長が就任された16年間は、今日の那覇市を築いてゆき、極めて重要な時期であります。広大な小禄城や新都心など、かつての米軍基地を市民の手に取り戻し、新たな都市建設を切り開いた時代でもありました。

現在では当たり前のように、自らの戦争体験に叫ばれていた。親泊前市長の希望に満ちた医学生としての道は、「戦争のために生まれざるを得なかつた」という思いを、ご子息に夢をつなぎ、自らは県民・市



民の沖縄戦体験を風化させないための平和への取組みに全力を注いでおられました。

葬儀に際して、姉妹都市の宮崎県日南市長がわざわざお見えになり、ブラジル語り継いでいくことが、こ

れからの那覇市の発展に向けての一里塚になると思い

ます。

市長などからも死を悼む弔電が届いていました。

親泊前市長が残されたご功績を、私たち市民が永く語り継いでいくことが、このサンビセンテ市長や福州

で受け付けています。

平成17年 国勢調査 那覇市実施本部を設置

創設し、いまや全国一の市勢調査実施に向け、このほど新都心銘苅庁舎の2階に同調査実施本部を設置しました。

5年ごとに全国一斉に実施される国勢調査は、国内に住んでいるすべての人を対象に、人口や各世帯の実態等について調査するものです。

国勢調査人口は、今後5年間の地方交付税交付金の千人まで増加し、将来も増加の傾向にあります。

状として、プライバシー意識の高まりや市民意識の変化、単身世帯や共働き世帯の増加による昼間の不在世帯、オートロックマンションなどの増加により厳しくなっています。

調査の結果は、国や地方公共団体の行政施策の基礎となる、市の財政に大きく影響しますが、那覇市はいち早く情報公開制度を制定し、条例を制定し、

親泊前市長への感謝を込めて

那覇市長 翁長雄志

親泊康晴前市長は、昭和59年に第24代那覇市長に就任されて以来、4期

16年の長きにわたり、那覇市長として、平和都市の実現、福祉の増進等、

本市の発展に大きな功績を残されました。

温厚で誠実なお人柄で、公平、公正な市政の運営に全力で尽くされ、多く

の市民に敬愛されました。本市は今、市民の皆さまとともに新たな協働のまちづくりの取り組みを

強くしております。

この度のご急逝は誠に残念でなりません。

私たちには、親泊前市長の本市発展へのご尽力と

ご恩を深く胸に刻みこみ、これからの那覇市の発展に取り組んでいかなければならぬという思いを強くしております。

現在、土・日・祝日を除く毎日午前9時～午後5時まで、市役所本庁1階ロビーで受け付けています。

調査票の配付・回収、名簿の作成認印、預金通帳をご持参のうえお申込みください。

調査期間：9月23日～10月15日頃
約50世帯を調査した場合
で4万5千円

お申込み・お問い合わせ
（8月下旬に説明会を行います）
経営企画室統計グループ
☎ 951-3223
（新都心銘苅庁舎4階）

2005国勢調査員募集集中！



月～金の午後5時まで本府
1階ロビーで受け付け中

市では、10月1日の「国勢調査」実施に向け、このほど新都心銘苅庁舎の2階に同調査実施本部を設置しました。



當銘芳二副本部長と川條三明事務局長により看板かけが行われました(3月30日・新都心銘苅庁舎)

有料広告がスタートしました。広告を募集しています。☎862-9942 秘書広報課



優木の家

木のこだわり
人の思いやり。

檜の香り漂う健康住宅

健康住宅へのこだわり：木造住宅を選んだ理由(わけ)

子供たちがアトピー性皮膚炎を持っているMさん夫婦、そのため新しい家をつくる最大のポイントは、室内環境のことでした。家族が健康で安心して暮らせる環境について考えている、ある日、「健康住宅・優木の家」というう会社の広告を目につきました。「健康」の文字に強く引かれた夫婦は、モデルハウスへ出かけてみるとしました。何度か検討を重ねた結果、その木造住宅に決めました。

「木造の家に住むことは、ある意味“挑戦”でしたが、子供たちも以前より症状が和らぎ、今は木や自然素材の力を痛感しています。」家族が健康に過ごせる環境に加え、欲しかった大きな収納スペース、使い勝手のよい水まわりや居室。「木造住宅に決めてよかった。」と感じたMさん夫婦でした。

一般建築業者(会員)第7240号 宅地建物取引業(6)第1645号
株式会社興國開発 〒900-0036 沖縄県那覇市西1-16-1 ☎0120-67-9752
TEL098-867-9752 FAX098-868-0390 http://www.koukokukaihatsu.jp